



▲東京都交通安全協会林安全対策部長が記念大会当日の流れを詳細に説明



▲出席者を代表して麻布交通少年団指導員が谷島少年団副団長から修了証を受けた



▲島田東京交通少年団長が「情報を共有し、記念大会を成功させるべく頑張りましょう」とあいさつ



▲警視庁交通部川嶋管理官が「指導員の皆さんが中心になって交通少年団と作り上げてきた成果を記念大会で見られることを楽しみにしています」と呼びかけた



▲指導に熱が入る藤崎チーフプロデューサー



▲交通少年団員が参加し、本番さながらの訓練に励んだ



▲右端 高島音楽指導員



▲左端 木俣音楽指導員

(一財)東京都交通安全協会は、地域交通少年団で指導を行っている指導者を対象にした研修会を、2月23日(祝)渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。目前に控えた東京交通少年団創立50周年記念大会に向け、林安全対策部長が会場や当日の行事内容を解説し、星野安全対策課長が留意事項などを中心に説明しました。

午後の部では、座学研修のほか誘導補助及び記念大会当日の誘導活動シミュレーションなどを行った。他、交通少年団員が参加し、前警視庁音楽隊長の藤崎チーフプロデューサー、東京都交通安全協会指定音楽指導員の高島先生、木俣先生の指導のもと、鼓笛演奏・フラッグ舞訓練、合唱訓練を行いました。

第21回東京交通少年団指導者研修会を開催

運動の目的

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

運動の重点

全国重点

- 1 **こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践**
 - (1) 通学路を始めとした安全な道路交通環境の確保
 - (2) 歩行者の交通ルール遵守の徹底
- 2 **歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行**
 - (1) 運転者の歩行者優先意識の徹底
 - (2) 飲酒運転の根絶
 - (3) 妨害運転等の防止
 - (4) 高齢運転者の交通事故防止
 - (5) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- 3 **自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守**
 - (1) 自転車利用者のヘルメット着用と安全確保
 - (2) 自転車の交通ルール遵守の徹底
 - (3) 特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

地域重点 (東京都重点)

- 4 **二輪車の交通事故防止**
 - (1) ヘルメットの正しい着用の徹底と胸部プロテクター着用の促進等
 - (2) 二輪車交通安全教室等への参加促進
 - (3) 学校、事業者等に対する情報発信



交通安全情報満載のTOKYO SAFETY ACTIONはこちらからご覧いただけます→

